

第1回 富山駅周辺整備事業推進協議会  
富山駅周辺整備計画の概要と今後の事業展開

1. 富山駅周辺整備計画の概要	1
2. 今後の事業展開	2

**【参考資料】**  
◇富山駅周辺整備事業を構成する4つの事業（パンフレット抜粋） …… 参1

平成18年10月25日

富山市

# 1. 富山駅周辺整備計画の概要

■ 駅周辺整備関連プロジェクト図 ■

## ◎ 駅周辺整備関連プロジェクトの推進

- ・ 北陸新幹線建設事業
- ・ 富山駅付近連続立体交差事業
- ・ 富山駅周辺地区土地区画整理事業
- ・ 富山港線路面電車化事業
- ・ 富山地方鉄道市内電車の延伸



## 現在までの経緯

### □ 「富山駅周辺整備協議会（黒川委員会）」の開催

- ・ 第1回 (H15.07) : 現況と整備の基本方向について
- ・ 第2回 (H15.10) : 検討課題と検討条件／市民の意向把握
- ・ 第3回 (H16.01) : 富山駅周辺整備の基本方向
- ・ 第4回 (H16.06) : 富山駅駅前広場等整備検討
- ・ 第5回 (H16.11) : 交通施設等の詳細検討／事業化検討
- ・ 第6回 (H17.02) : 事業化に向けた課題検討

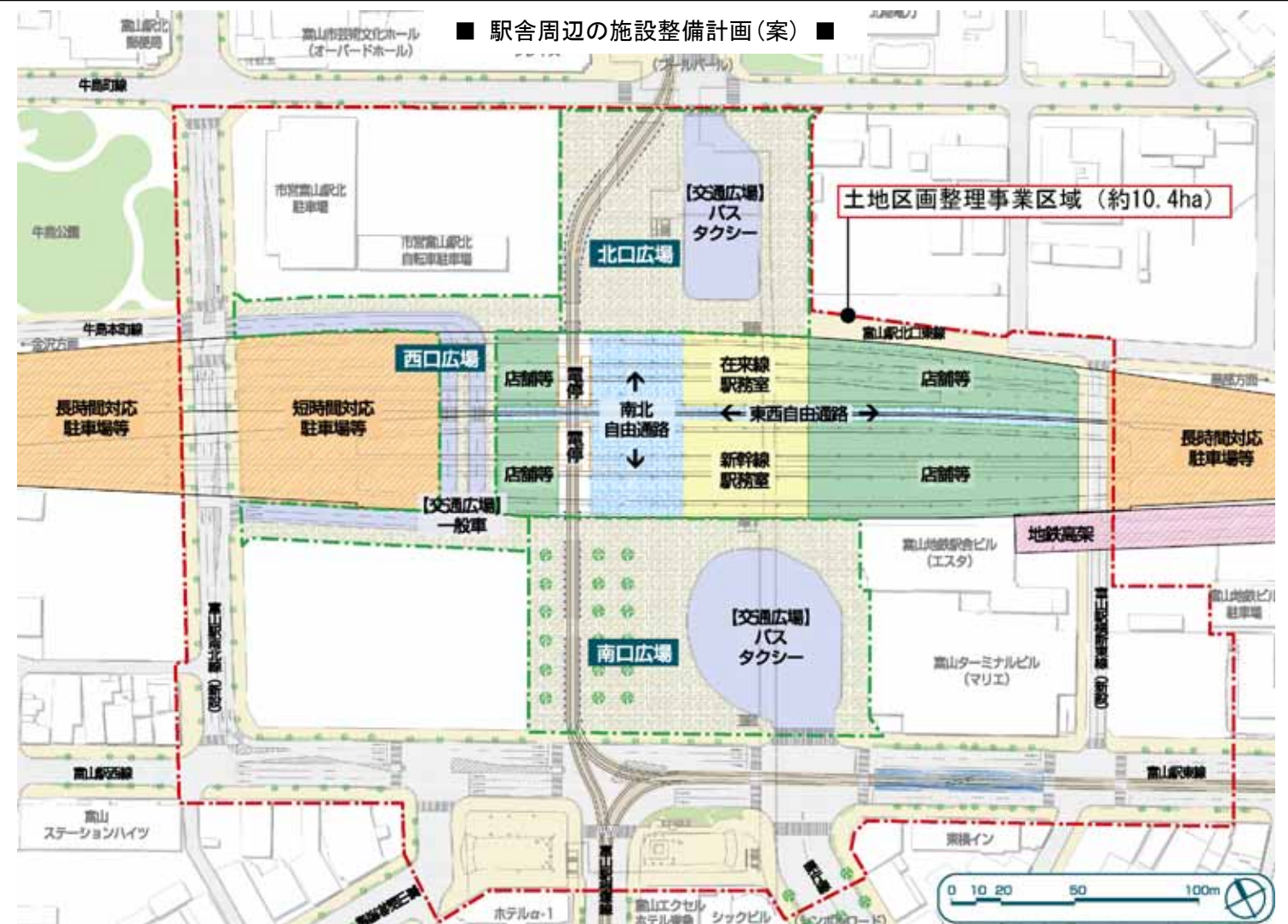
### □ 都市計画決定等の手続き

- ・ H17.04.27 : 都市高速鉄道及び関連都市計画道路等の都市計画決定  
北陸新幹線富山・金沢間、福井駅部の工事実施計画認可
- ・ H17.06.27 : 富山駅付近連続立体交差事業の事業認可
- ・ H17.07.01 : 富山駅周辺土地区画整理事業の都市計画決定

## ◆ 駅前広場の計画概要

種別	現況	現計画案	備考	
面積	北口広場	6,100 (㎡)	9,900 (㎡)	
	南口広場	9,500 (㎡)	12,000 (㎡)	
	西口広場	—	5,000 (㎡)	
	計	15,600 (㎡)	26,900 (㎡)	
施設	バスパース	乗車：広場内 4台 広場外 5台 降車：広場内 0台 広場外 2台 高速バス： 1台	乗車：広場内 7台 降車：広場内 2台 高速バス： 1台	観光、企業送迎は北口に確保
	タクシーパース タクシー駐車場	乗降車各 2台 40台以上	乗降車各 2台 10台程度	遠隔設置を前提として計画
	一般車K&R 短時間駐車場	約 7台 11台	10～12台 100～120台	
	駐輪場	約 1,672台	約 2,120台	高架下利用見込む

■ 駅舎周辺の施設整備計画(案) ■



## 2. 今後の事業展開

### 段階的整備計画（案）

南口仮駅舎設置の工事を平成19年度として平成26年度末の新幹線開業に向けて、以下の段階的な施工展開を計画する。

#### ○南口仮駅舎設置

- ・現況の駅前広場を利用しつつ、西側に仮駅舎・仮通路・駐輪場の建設を行う。
- ・施設建設に先立ち既存の構造物撤去を行う。

#### ○仮駅舎使用開始／南口仮広場整備

- ・改札口は仮駅舎へ移転となるが、南口広場については現況の広場を利用する。
- ・南口仮設広場の建設と鉄道の工事用ルート及び広場のアクセス用として、都市計画道路（富山駅南北線）の暫定整備を行う。

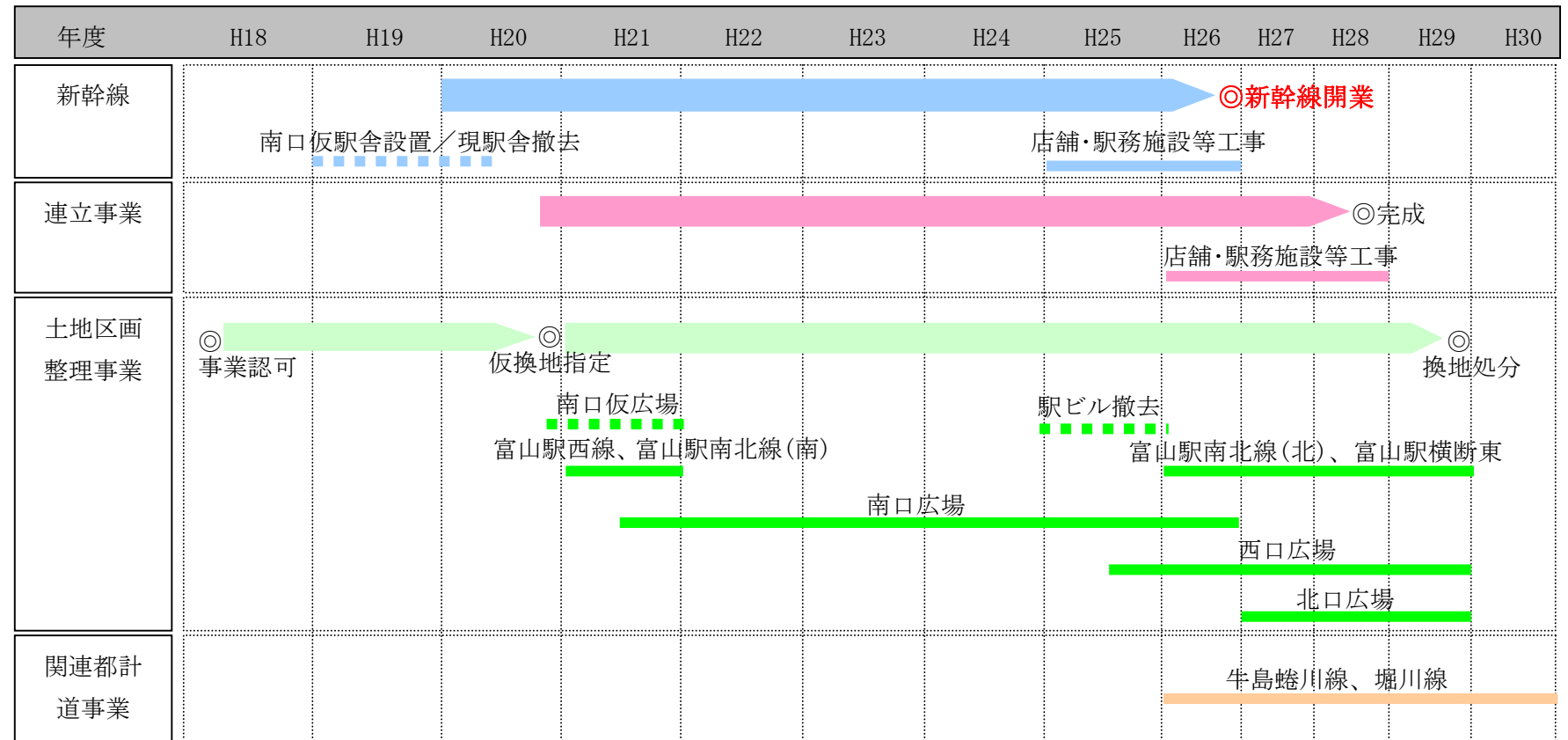
#### ○南口仮広場使用開始／新広場整備

- ・車掌区・仮店舗の供用開始とする。
- ・ステーションデパートの撤去工事開始。
- ・現況の広場は一般駐車場やレンタカーを残し工事中とする。（一部供用）
- ・高架下に一般駐車場やレンタカーの工事を行う。

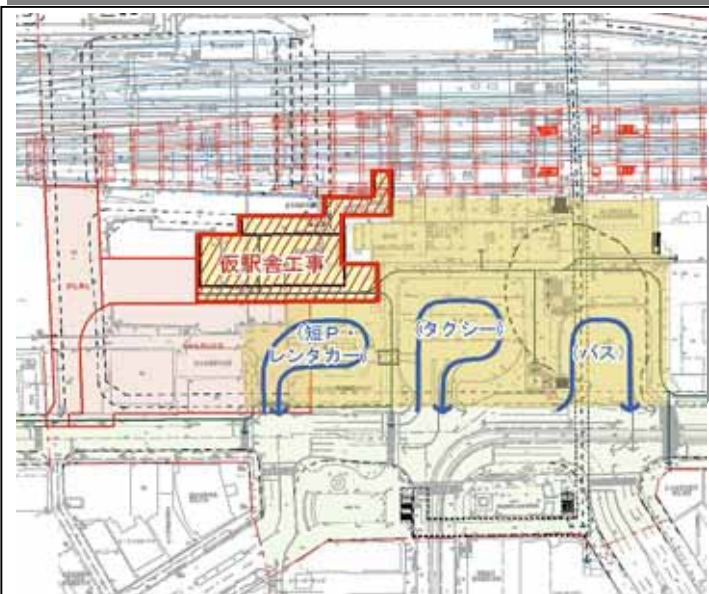
#### ○新広場使用開始／仮広場撤去

- ・高架下にて一般駐車場やレンタカーの暫定的な供用開始。
- ・南口広場は工事完了。
- ・新幹線開業
- ・仮施設の撤去を順次開始。

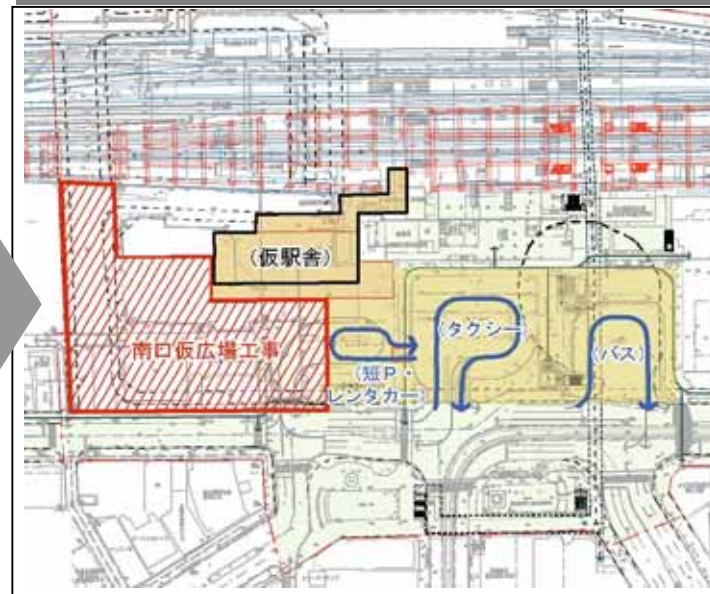
### 今後の事業スケジュール（案）



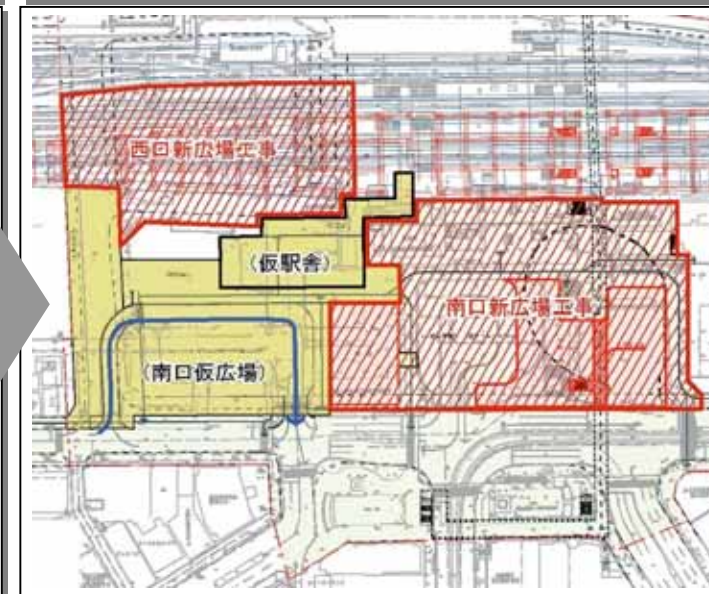
#### ○南口仮駅舎設置



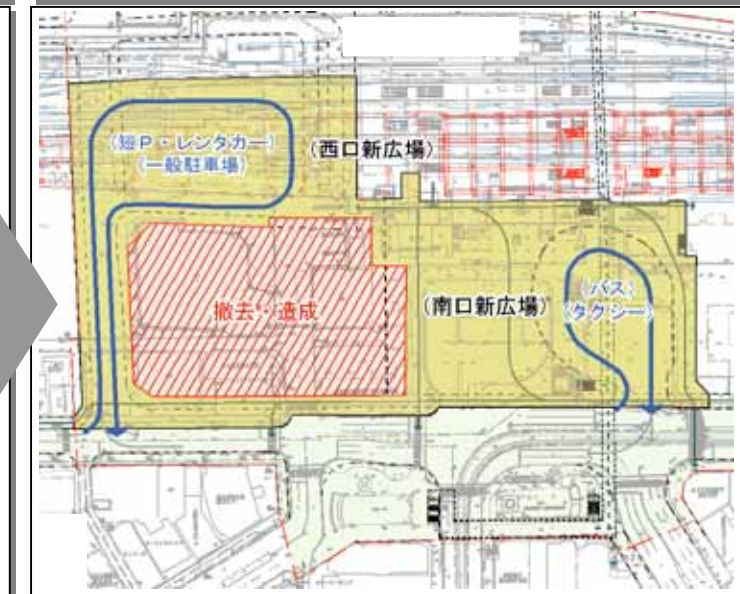
#### ○仮駅舎使用開始／南口仮広場整備



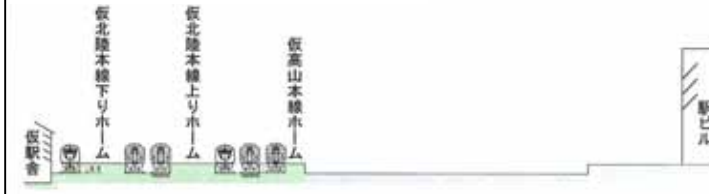
#### ○南口仮広場使用開始／新広場整備



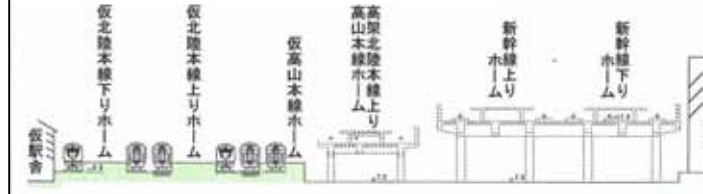
#### ○新広場使用開始／仮広場撤去



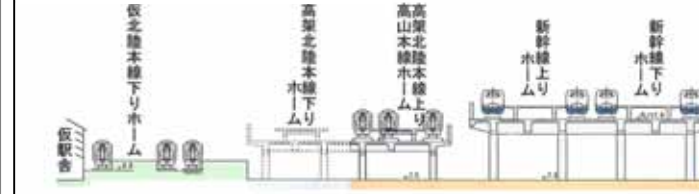
#### ○仮線建設・移転完了



#### ○高架本体施工（北陸線上り線・高山本線）



#### ○高架本体施工（北陸線下り線）



#### ○北陸本線下り線 高架へ移転



# 富山駅周辺整備事業を構成する4つの事業

## 1. 北陸新幹線建設事業

北陸新幹線は東京から長野、富山を経由し大阪に至る約700kmの路線で、長野～金沢間は平成26年度末までの完成が予定されています。

## 2. 富山駅付近連続立体交差事業

北陸新幹線建設事業にあわせ、富山駅周辺の抜本的な改善を図るため、JR北陸本線やJR高山本線、富山地方鉄道本線を高架化するものです。

## 3. 富山駅周辺地区土地区画整理事業

富山駅周辺地区の一体的なまちづくりを推進するため、駅前広場や都市計画道路などの、基盤整備とあわせ、駅周辺における土地利用の高度化を図るものです。

## 4. 関連街路整備事業

連立事業区間において、これまで鉄道により分断されていた南北市街地を結ぶ街路の新設・拡幅を行い、鉄道の高架化をいかした交通環境の改善を図るものです。

このように、相互に関連する4つの事業を総合的に推進していくことにより、新たな時代に対応した南北一体化のまちづくりを実現していくことが、富山駅周辺整備事業の目的です。

## 1. 北陸新幹線建設事業

北陸新幹線は、東京から長野市や富山市を主な経由地とし、大阪に至る延長約700kmの路線です。

平成17年4月に富山～金沢間及び福井駅部の工事実施計画が認可され、長野～金沢間は平成26年度末までの完成を目指して事業が進行中です。

これにより、都市間の移動時間が大幅に短縮され、富山～東京間においては、およそ1時間短縮され、約2時間7分で結ばれます。

区 間：東京～大阪間(約700km)

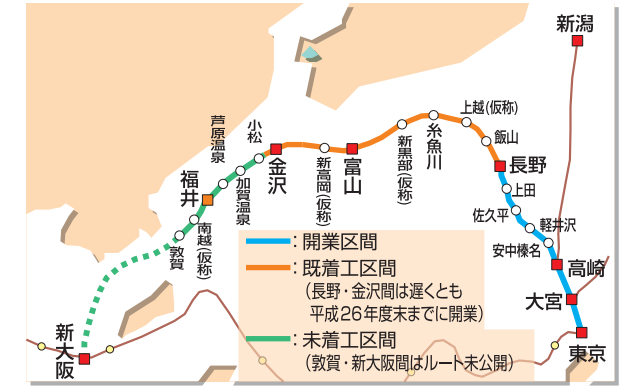
設計最高速度：260km/h

主要な経過地：長野市付近、富山市付近、小浜市付近

建設主体：独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構

営業主体：西日本旅客鉄道株式会社

■北陸新幹線ルート図



	現状の時間距離	整備後の時間距離	短縮時間
東京～富山	3時間11分	約2時間07分	約1時間
新大阪～富山	3時間07分	約1時間20分	約1時間40分

## 2. 富山駅付近連続立体交差事業

県都にふさわしい交通拠点の整備や、鉄道によって分断されていた南北市街地の一体化を目的に、在来線を高架化する連続立体交差事業を行っていきます。

整備にあたっては、富山港線の路面電車化や、新幹線整備に合わせた施工等により、事業のコンパクト化とコストの削減を図ります。

連続立体交差事業は図のように、段階的に進めていきます。

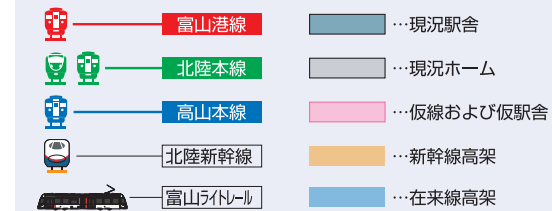
JR北陸本線富山駅付近連続立体交差区間

L=約1.8km

富山地方鉄道本線地鉄富山駅付近連続立体交差区間

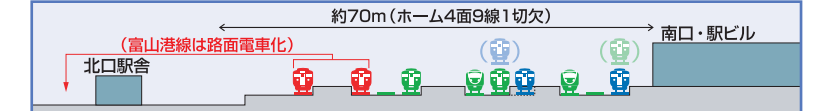
L=約1.0km

事業主体：富山県

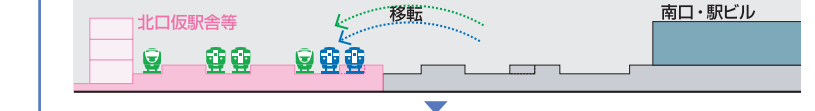


### ■施工方法

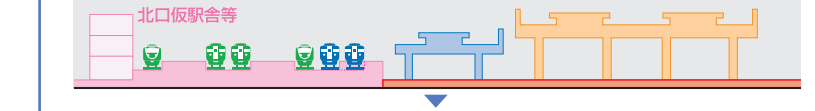
#### 1. 現況



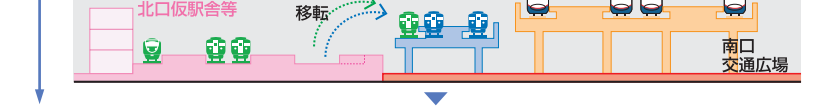
#### 2. 仮線建設・移転終了



#### 3. 高架本体施工(北陸本線上り線・高山本線・北陸新幹線)



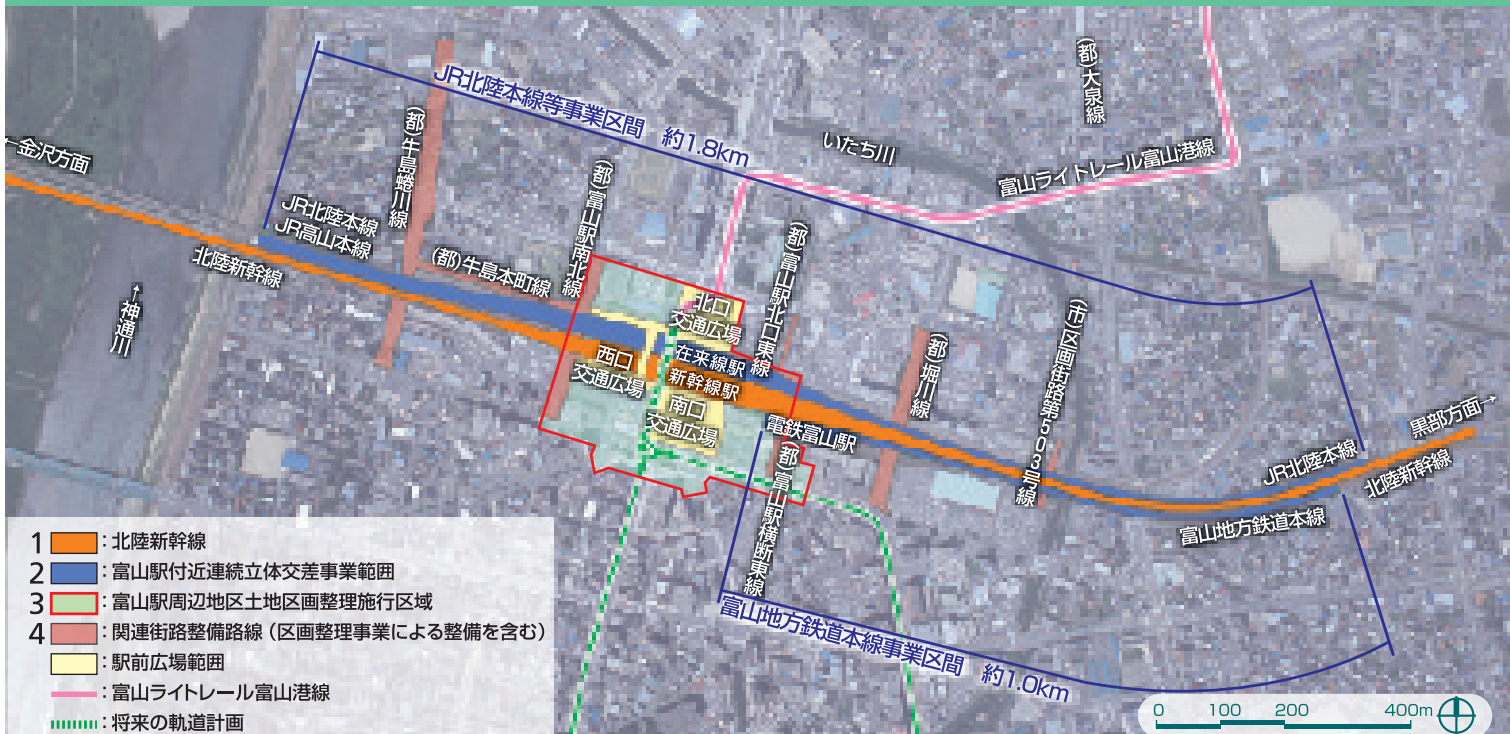
#### 4. 高架へ移転(北陸本線上り線・高山本線)/南口交通広場整備



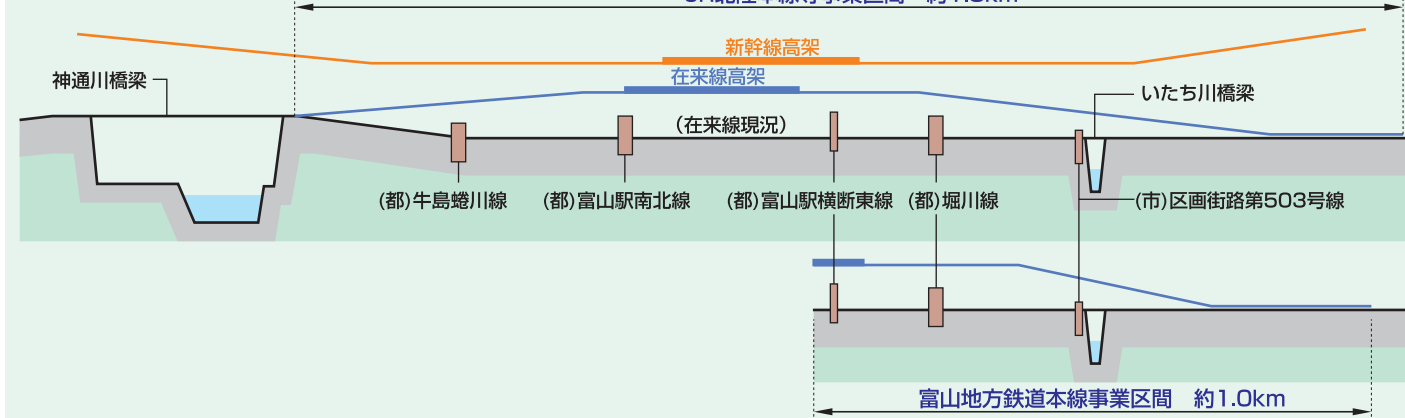
#### 5. 高架本体施工・高架へ移転(北陸本線下り線)/北口交通広場整備



■位置図



■縦断面図

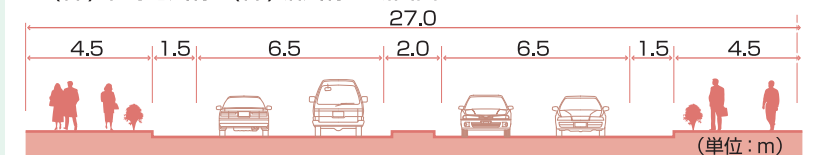


## 4. 関連街路整備事業

連続立体交差事業による在来線の高架化にあわせ、慢性的な交通渋滞が発生している路線について、拡幅・整備を行っていきます。

これにより、渋滞の解消とともに、歩行者・自転車の安全性と利便性の向上が実現されます。

■(都)牛島蛭川線・(都)堀川線 断面図



	現状の幅員	将来の幅員
(都)牛島蛭川線	W=18.0m	W=27.0m(4車線)
(都)堀川線	W=19.5m	W=27.0m(4車線)

その他、(都)牛島本町線、(市)区画街路第503号線の拡幅・整備を実施

### 3. 富山駅周辺地区土地区画整理事業

駅前宅地の再整備や道路整備による残地の有効利用を図るため、土地区画整理事業の導入による駅前周辺地区の一体的整備を行います。

面積：約10.4ha  
事業主体：富山市

#### 事業の基本方向

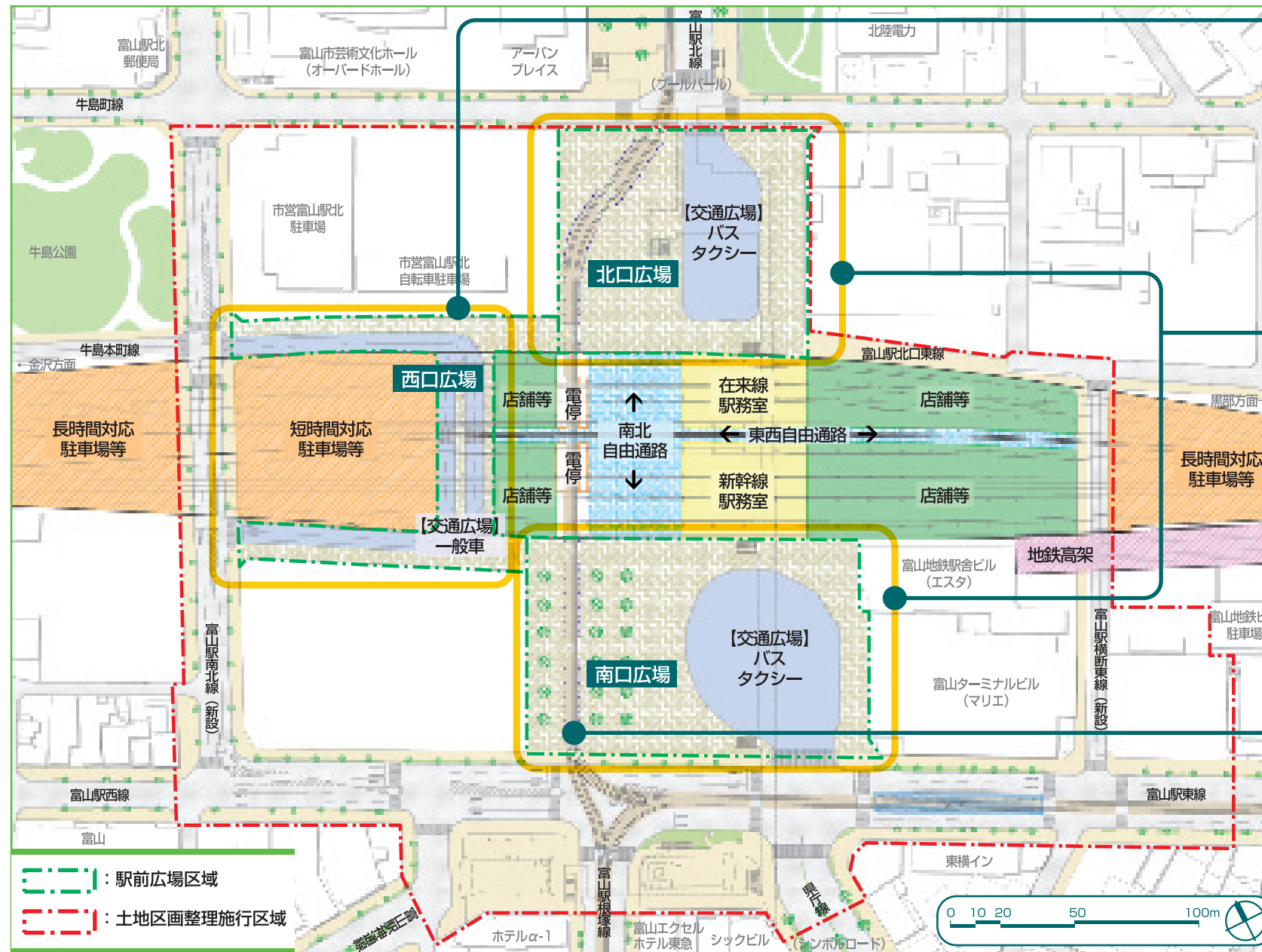
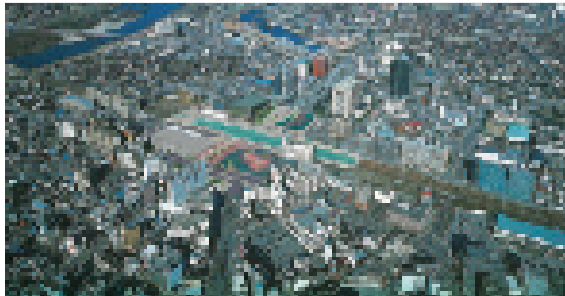
駅前広場は、一般車を西口高架下に分離し、南北口はバス、タクシーの公共交通に限定することにより、ゆとりのある歩行者空間を生み出します。

このことから富山駅周辺地区では次の3点を特徴とした整備を進めます。

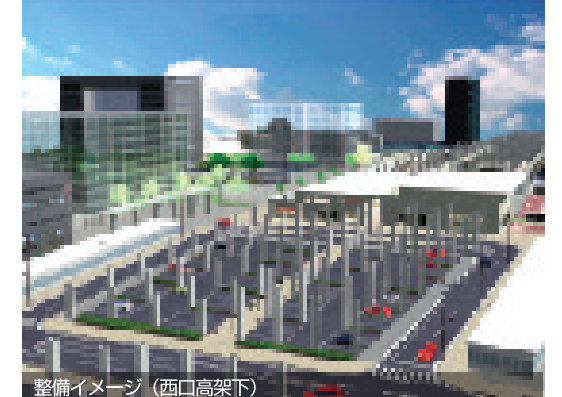
1. 高架下をいかした交通広場
2. 賑わいを創出する多目的な広場空間
3. 南北鉄軌道軸の連結

これらとあわせ、駅周辺地区のまちづくりを進め、新たな都市開発の誘導や、地区計画の策定などにより富山の玄関口にふさわしい賑わいの創出とまちなみの形成を図っていきます。

■整備イメージ（駅前広場等の鳥瞰）



#### 1. 高架下をいかした交通広場



整備イメージ（西口高架下）  
一般車については、西口高架下空間を利用し、雨や雪に煩わされることのないアメニティの高い乗換え環境を実現をします。  
(イメージ図は鉄道高架の下側のみを表現)

#### 2. 賑わいを創出する多目的な広場空間



整備イメージ（南口広場空間）  
賑わいを創出する多目的な広場空間を駅南北に確保し、広幅員の南北自由通路で結びます。

#### 3. 南北鉄軌道軸の連結



整備イメージ（路面電車高架下横断部）  
富山ライトレール富山港線をさらに延伸し、高架下を貫通させ、南側の富山地方鉄道市内線との接続を目指します。

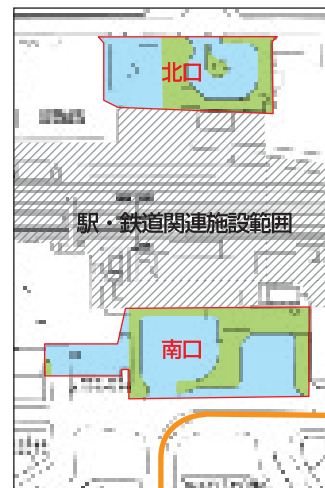
#### 駅前広場の整備

駅南口、北口、西口に交通広場を整備し、交通結節機能の強化とゆとりある広場空間の確保を図ります。

これにより、広場規模は現状の15,560㎡から26,900㎡に拡大されます。

駅前広場の規模	現状規模	将来規模
北口交通広場	6,100㎡	9,900㎡
南口交通広場	9,460㎡	12,000㎡
西口交通広場	-	5,000㎡
合計	15,560㎡	26,900㎡

■現状の駅前広場区域



■将来の駅前広場区域



#### 土地区画整理事業による主な道路整備

道路などの公共空間を整備することで、土地の高度利用を促すとともに、市民、来街者へ安らぎと潤いのある公共空間の提供を図ります。

